

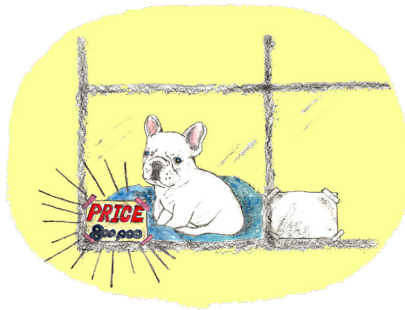
フレンチブルドッグの子犬について 聞きたかったこと。



解説



羽田悠一郎（はつん）
フレンチブルドッグ専門「ZAIHOO（ザイホー）」代表
長年のパートナーとして「犬質」にこだわったフレンチブルドッグの子犬・若犬を紹介するフレンチブルドッグ専門店の代表。自身のドッグショーやブリーディングの経験から知り合ったフレンチブルドッグ専門のショーブリーダーと提携。自身の目で選んだ「良質な子犬」を紹介することにこだわりをもつ。



2頭めを
迎えたくて

Q 2頭めの子を迎えたくて1年以上探しています。1頭めはペットショップで一目惚れして購入した子で、もちろん可愛いのですが、想像していた感じのフ

とわかります。そもそも僕のお付き合っている、ドッグショーをされるショーブリーダー同士の間で取引される子犬でも、80万円出したら、国内産ならスペシャルな子犬を購入できますし、外産の子でも十分良質な子を購入できます。もちろんそれも価値観の問題ですが、子犬を購入するうえでいちばん大事なのは「犬質」です。10年以上、365日をいっしょに暮らす子犬を迎えるのにいちばん大事なことは「犬質」なのです。

B

インスタで
子犬を見つけた

Q インスタで可愛い子犬が生まれているブリーダーさんを見つけた。インスタから連絡して購入するのはどうなのでしょう？ 正直あまり予算がないので、少しでも安く購入できればと考えています。



A これは判断が難しいところですね。実際に良質なブリーディングをされるブリーダーさんで、インスタに子犬をアップされている方もいますが、インスタで子犬の写真を紹介するのが上手いだけのブリーダーさんもいます。というより、後者のほうが圧倒的に多いと思います。繁殖屋さんのインスタ上手、ということですね。やはり、インスタで見つけると「自分で探し出した」という思いから、運命の出会いと感じやすいのだと思います。

また、ご質問のようにインスタから直接ですと、お値段も格安で購入できると思う方が多いようですが、インスタ上手なブリーダーさんはそれだけ問い合わせもありますから、格安どころか、むしろ犬質に対して高額な場合が多いと思います。少し冷静に考えていただければわかると



A 2頭目を迎えたいという希望のお客様で、よく聞くお悩みですね。正しいもの、そうでないもの、ネットの情報が増えすぎていて何を信じていいかわからなくなるお気持ち、わかります。初めての子犬はペットショップから迎え、いっしょに暮らしているうちにフレンチブルドッグの知識が増えてきて、2頭目はブリーダーから直接迎えたいと考えるようになり、ブリーダーや犬舎など、ネットの情報調べまくるうちに、だんだん血統などの知識が増えていき、自分で犬の良し悪しが判断できる気になってしまふような方は、注意していただきたいと思っています。そんな方が、自分で探したブリーダーの犬舎に直接見学に行つて、ネットの知識を振りかざしてブリーダーとトラブルになったり、仮に購入に至っても、購入後にトラブルになったケースなどを実際によく耳にします。

フレンチブルドッグの成犬の雰囲気ではありませんでした。それから良いフレンチブルドッグとは？ ということをいろいろ勉強して情報を集めたのですが、いろんな情報が入りすぎて決断ができなくなっているのが現状です。2頭めを迎えるときのアドバイスがあれば聞きたいです。



と思いますが、インスタであろうが、他のどのルートであろうが、ブリーダーが自分で犬質が良いと判断した子を格安で販売することはありません。フレンチブルドッグで犬質の良い子を作るのにどれだけの費用と手間暇がかかるか、考えたらあたりまえのことです。もし仮に格安なら、それはそれだけの理由があるということでしょう。フレンチブルドッグは高額ですから、少しでも安くというお気持ちも重々わかります。しかし、フレンチブルドッグは、迎えてからも他の犬種より病院代など費用のかかる可能性が高い犬種です。ご予算によっては他の犬種を考えるのもありなのかもしれません。迎えた子は10年以上の付き合いになるのですから、無理のないように考えてみてください。

B



僕は自分自身が運営しているものがありますが、ブリーダーから直接迎えたいと思うなら、良質な子犬を作るフレンチブルドッグ専門ブリーダーを複数扱うお店を仲介して、自分の好みに合った子犬を作るブリーダーを相談しながら選ぶほうが、お引き渡し後のアフターケアも含めて、より健全だと思っています。あなたが直接見つけたブリーダーで子犬を購入しても、僕のような仲介を通してブリーダーから直接購入しても、子犬の値段は同じです。仲介側が手数料をいただくのはブリーダーからなのですから。

逆に、ちょっと知識をつけた方が、自分で探したブリーダーからお世辞にも犬質が良いとは言えない子犬をかなりの高額で購入したというお話は、本当によくあることです。「高額＝良質な子」と思うのは人間の心理ですし、自分で探し出した子が高

80万円の子は
特別ですか？

Q 有名ペットショップで80万円のクリームの男の子を見ました。80万円の男の子はどうか特別なんでしょうか？



A その子を見ていないので何とも言えませんが、僕自身も近所のペットショップで、同じように80万円以上のクリームの男の子を見たことがあります。もちろん価値観の問題なので、80万でもその子が可愛いとほいならそれでいいと思います。ただ、「可愛いから80万円でもほしい」ならいいのですが、「80万だから良質な子犬だ」と勘違いするのは間違いないので、気をつけましょう。80万円という高額を付けておけば、「高額＝良質な子」と勘違いするだろうと計算されて展示している場合がほとんどです。僕が見た80万円以上のクリームの子も、コロコロではなくブニョブニョに太った子でした。違いを簡単に言うと、体質に張りがあるコロコロ感と、体質がゆるゆるなブニョブニョ感です。クリームは体質のゆるい子が多いので、ある程度は理解できますが、そこまでゆるいと将来どんな感じになるか、想像がつく人からみたら値段相応の犬質ではない

額だと言われたら、スペシャルな子を見つけた気になってしまう気持ちもわかるのですが、実際は金額がスペシャルなだけです。僕は子犬販売を15年やっていますが、犬質の良い子はじっくり探せばたくさんいます。しかし、犬質の良い子はいくらもたくさんいません。そして、スペシャルな子は滅多にいないのです。ですから僕は、犬質の良し悪しがかかる仲介に相談して、自分の好みの子犬を作るブリーダーを紹介してもらい、見学で実際に子犬と触れ合ってみて、犬質が良い子とそれに見合った金額で購入するのがいちばん健全な考え方だと思っています。

B

ふたつのタイプ
の違いは？

Q 「アメリカンタイプ」と「ヨーロッパタイプ」はどちらにどのような特徴があるのか教えてください。



A もともとフレンチブルドッグはヨーロッパで繁殖され、その姿に魅了されたアメリカ人がアメリカに連れて帰り、繁殖を始めたことで、ヨーロッパとアメリカが存在することになりました。単純に違うのは、純血

子犬のしつけが簡単だったという他人の話や、
ネットの情報と比べる意味はありません。
あなたが選んであなたが迎えたあなたの子です。

ぜんぜん特別ではありません。僕のところから子犬を迎えてくださったお客様でも、多くの方がまったく同じことで苦勞し、悩み、不安を抱えます。あなただけではありません。フレンチブルドッグだからでもありません。他のどの犬種でも、生後半年でしつけが上手いいかないことなんて、当たり前のようにあります。2ヶ月から6ヶ月までの4ヶ月間で外見は急速に成長したと思います。しかし、生後半年はまだまだ子犬なの



A

失敗ばかりの
生後半年

Q 生後2ヶ月の子犬を迎えて4ヶ月経ち、生後半年になりましたが、いまだにトイレの失敗や甘噛みがありません。毎日のようにウンチまみれになるケージを掃除することの繰り返し、何度叱ってもやめない甘噛み、正直これがいつまで続くのかと思うとノイローゼになりそうです。こんな毎日がつまみ続くと不安でたまりません。フレンチブルドッグはこんなにしつけができないものなのでしょうか？ それともうちの子が特別なのではないでしょうか？



失敗ばかりの
生後半年



です。中身は子犬のままなのです。しつけをする際は「子犬に期待しすぎない」、これがいちばん大事です。しつけなんて思うようにいかなくて当たり前なのです。そういった気持ちでいることが、子犬にとっても人間にとっても健全です。子犬に期待しすぎても人間のストレスになるだけです。なかなかしつけが入らないのも、思うようにいかないのも「ウチの子の個性」と思ってください。子犬のしつけが簡単だったという他人の話や、ネットの情報と比べる意味はありません。あなたが選んであなたが迎えたあなたの子です。あなたのイライラやストレスは子犬にも必ず伝わってしまうので、きつと今はトイレの回数もこまめに多いと思います。トイレ以外の場所でおしっこもしますし、足にウンチが付いたままケージ内で走り回るので、匂いも掃除もとても大変でしょう。しかし成犬になればおしっこが1日2〜3回、ウンチが1日

のヨーロピアンにクリームはいません。純血のアメリカン、もしくはアメリカンとヨーロピアンハーフやクォーターなど、血が混じらないとクリームは生まれないです。その他のブリンドル、フォーン、バイドは、ヨーロピアンもアメリカンもいます。

それから意外と知られていないのは、アメリカンとヨーロピアンの成長過程の違いです。アメリカンは1歳くらいでほぼ成犬の形に完成していきます。ですから、生後2ヶ月以降から顔も体も伸びる時期に入りますが、それでもアメリカンは、1歳くらいにはコロコロしている印象が強いと思います。対してヨーロピアンは、3歳過ぎくらいまで時間をかけて成犬の形に完成していきます。個体によっては4歳、5歳でも犬質



男の子か
女の子か？

Q 男の子にするか女の子にするか、家族で意見が分かれています。男の子と女の子の違いや注意点、それから去勢手術や避妊手術の必要性など知りたいです。

A まず男の子と女の子の外見の違いは、個体差があるので平均的なお話になりますが、男の子は女の子より頭が大きく、胸も深く、腰にかけてくびれがあるので、体のラインにメリハリが出ます。対して女の子は、男の子よりひとまわり頭が小さく、体のラインはどちらかというとメリハリが少なくストレートボディです。皆さんがいわゆるフレンチブルドッグらしさや雰囲気想像されるのは、男の子の形だと思います。体



男の子か
女の子か？

を上げてくる子もいます。ですからそのぶん、アメリカンはシニアになってからの体の崩れがヨーロピアンに比べて早いです。もちろん、管理を上手にしていればシニアになっても崩れず保てますが、やはりシニアになっても容姿が綺麗なヨーロピアンの方が圧倒的だと思います。



重は男の子で10〜13キロ、女の子で9キロ〜11キロくらいが平均だと思います。見た目は小さいですが、筋肉質なので抱きかかえると重い印象だと思います。

最近マンション飼いのお客様で、マンション内の共有スペースは犬を地面に下ろさないというルールのあるところも多いので、女性が抱えることをいかに考える、女の子にされる方も増えてきたように思います。

それから、性格がよく勘違いされる「男の子だから気が強くてやんちゃ、女の子だから穏やかで扱いやすい」ということはありません。性格は個体差で、新しく迎え入れられた環境で、飼い主がどのように愛情を注ぐかで変わってきます。

去勢手術や避妊手術の必要性はとも難しい問題です。獣医さんが勧めるから、周りがみんなやっているから、病気のリスクが減るからなど、人それぞれ判断や決断する理由も違うとは思いますが、獣医さんや手術を経験された方のお話をしっかり聞いて、メリット・デメリットをちゃんと理解したうえで、きちんと悩んで決めていただけたらと思います。これに関しては、ブリーダーさんに相談しても、去勢、避妊はしなく

バイドって
ほっそり？

Q 友人が購入したバイドの子犬を生後2ヶ月で見せてもらい、すごくコロコロで可愛かったのですが、私もバイドの子犬がほっそりしました。しかし、その子が生後6ヶ月のときに見たら、体がほっそりして顔も面長になっていました。バイドの子は大人になるとほっそりしてしまうのでしょうか？

A バイドだからというわけではなく、生後6ヶ月なので子犬が全体的に伸びる時期です。子犬は生後60日以降くらいから人間でいうところの小学生や中学生のようなもので、手足、顔、体が伸びたり整ったりと、繰り返し成長していきます。

生後90日くらいから1歳くらいまではとくにバランスが崩れる時期なので、生後2ヶ月以前のコロコロ期に比べたら痩せ細ってあたりまえな



です。それはフレンチブルドッグに限らず、他の犬種でも同じことなのでご安心ください。

「犬質」がしっかりした子は、1歳〜1歳半くらいには人間が成人の体へと完成していくのと同じようにバランスが整って、コロコロした子に仕上がってきます。それから、もし仮にご飯の量が少なくて痩せてしまっている場合は、便が硬くなっていると思います。カチカチの便でしたらご飯の量を増やしてください。逆に便がゆるい場合はごはんの量が多い可能性があります。

たまに、子犬を迎えた生後60日くらいのときにブリーダーさんから聞いたご飯の量を、勘違いですとそのまま与え続けている方がいます。子犬の成長とともに少しずつご飯の量は増やすもので、気をつけてください。

これは個人的な考え方になりますが、フレンチブルドッグは人間性を感じさせるキャラクターから、ベッというより我が子同様に愛されている方が多いので、去勢、避妊に際しても我が子同様に、ちゃんと考えて判断されるようになってほしいです。去勢、避妊はしないほうがいいと言っているわけではありません。獣医さんも商売ですから、当たり前のように勧めるものと理解したうえで、あなた自身のためではなく、あなたの我が子のためをちゃんと考えて判断するようにしてください。





深堀り

マニアック！

フレンチブルドッグ

Q&A事典

さらに読者投稿スペシャル！

世の中にはたくさんの犬種がありますが、
かくもフレンチブルドッグは奥が深い……。
そんなことを思っている飼い主さんたちも多いのではないのでしょうか。
一筋縄じゃ行かない部分と、単純明快元気はつらつなところが、
完全に個性として同居しているフレンチブルドッグ。
もっと知りたいあなたのために、深堀りマニアックなQ&A事典をご用意しました。
どっぴりとフレブル沼につかっちゃってください！
さらに熱いリクエストにお答えして読者投稿スペシャルも多数掲載！

フレンチブルドッグのカラーの差って？

解説



羽田悠一郎（はつん）
フレンチブルドッグ専門「ZAIHOO（ザイホー）」代表
長年のパートナーとして「犬質」にこだわったフレンチブルドッグの子犬・若犬を紹介するフレンチブルドッグ専門店の代表。自身のドッグショーやブリーディングの経験から知り合ったフレンチブルドッグ専門のショーブリーダーと提携。自身の目で選んだ「良質な子犬」を紹介することにこだわりをもつ。

Brindle

ブリンドル

ブリンドルは、黒ベースに褐色などの明るい差毛が入る毛色。差毛が少なく黒光りして見えるものから、差毛が豊富に入るタイガーブリンドルと呼ばれるタイプもあります。

とは何か？」と考えたときに出てくるのは、フレンチブルドッグのスタンダードです。スタンダードとは、JKC（ジャパネケネルクラブ）が定めるその犬種の犬種基準です。簡単に言えば、フレンチブルドッグの健全な姿形のことです。そして、フレンチブルドッグを真摯に繁殖するブリーダーは、このスタンダードを求めてブリーディングをします。ブリーダーは、自分が繁殖した子の中で、よりスタンダードに近いと見立てた自信のある子をドッグショーに出陳して、チャンピオン犬を目指します。ただ、チャンピオンになっても賞金が出るわけではありません。それどころか、出陳やそのための準備、ハンドラーというドッグショーのプロに預かっていただくのも安い金額ではありません。それでも、真摯なブリーダーは自分のブリーディングで産まれたスペシャルな子に誇りを持って、ドッグショーに挑戦するのです。

そんなドッグショーは日本全国で開催されていますが、東京のビックサイトでは1年に1回、その年の日本一を決める「ジャパンインター」というドッグショーがあります。日本全国から集まった、フレンチブルドッグの有名犬が並ぶチャンピオンクラスなどは、スタンダードの知識のない方が見ても、その迫力や美しさを感じられることでしょう。

そして、そのチャンピオンクラスに並ぶ8割はブリンドルです。それが、他のカラーに比べて圧倒的に「犬質」の良い子が多い証拠なのです。

B

- ▶ いちばん多いカラーはブリンドル
- ▶ 他のカラーに比べて、圧倒的に「犬質」の良い子が多い
- ▶ フレンチブルドッグのスタンダード

Q

ブリンドルこそがフレンチブルドッグらしい？



「犬質」の良さは、ブリンドル

A

フレンチブルドッグのオースドックスカラーであるブリンドル。黒い毛色をベースに、明るい差毛が縞模様のように混じります。差毛が多く、からだ全体が明るい毛色はタイガーブリンドルと呼ばれ、逆に、差毛の少ない黒ベースの子は、ブラックブリンドルと呼ばれたりします。ただこれは愛称だけで、血統書ではすべてブリンドル表記です。差毛が派手なタイガーブリンドルになるほど、野生的でワイルド感があるので、男性に好まれる印象です。ブラックブリンドルは黒光りする毛艶で、全身が引き締まってシャープに見えると思います。ブリンドルやフォーンは、胸に白毛が入る場合と入らない場合があります。その見た目から、白毛が入る場合は「エブロンが入る」などと言われたりします。

そして日本だけでなく、世界的に見ても、フレンチブルドッグでいちばん多いカラーはブリンドルだと思います。僕はフレンチブルドッグの子犬の販売を始めて15年になりますが、いちばん多く販売させていたカラーがブリンドルです。それは単純にブリンドルの絶対数もありますが、ブリンドルはフレンチブルドッグのオースドックスカラーとしての歴史があるので、他のカラーに比べて、圧倒的に「犬質」の良い子が多いのです。

たとえば、「良いフレンチブルドッグ

フレンチブルドッグのカラーの差って？



Q パイドは気性が荒いというのは本当ですか？

パイドはテリアの血を濃く継ぐ

A

個性ある牛柄模様が特徴的なパイド。白い毛色をベースに、黒もしくはフォーンの斑が顔や体に入ります。斑は小さいものより大きいものが良いとされています。パイドはそのカラーバランスによって非常に個性的になるので、愛嬌あるキャラクター性で子犬を選びたい方は、パイドを選択される印象です。フレンチブルドッグという、もともと愛嬌ある姿形の犬種に牛柄模様ですから、4カラーの中でも断トツで目立つのがパイドだと思います。顔の左右にきれいに斑が入る子もいれば、左右どちらか片方のみ斑が入る「片パンチ」という愛称で呼ばれる子、顔は真っ白で体だけに斑が入る子など、まったく同じ斑の入る子は2度と産まれないのもパイドの特徴です。白ベースにフォーンの斑が入る子は、フォーンパイドという愛称で呼ばれています。白×黒のパイドより頭数は少なく、フォーンが入るので品のある印象になると思います。

- ▶ パイドはボストンテリアの血を濃く継いでいる
- ▶ 子犬期はみんなやんちゃである
- ▶ 性格は個体差や迎え入れた環境で作られる

Pide

パ イ ド

パイドは白をベースにブリンドルやフォーンの斑が頭部や体に入る毛色。斑は細かくなく、大きなものが理想とされています。牛柄模様のような、愛嬌ある毛色が洒落ていて魅力的です。



牛柄模様をした子豚ちゃんのような子犬。強烈なインパクトでした。散歩に出られる時期になり、近所を散歩していると、すれ違う人がかなりの確率で声をかけてきます。当時、まだフレンチブルドッグが少なかったのもあるかもしれませんが、それ以上に見た瞬間のインパクトが大きいのだと思います。

フレンチブルドッグはヨーロッパで異種交配を繰り返して作られた犬種ですが、その中でもパイドはボストンテリアの血を濃く継いでいるので、テリアの血から、少し気性が荒いところもあると言われています。それでも、僕自身の体感やお客様のパイドを見てきた経験では、他のカラーとそれほど変わりはないと思います。もちろんパイドで気性の荒い子はいませんが、それは他のカラーでも同じことです。初めての子犬探しのお客様が勘違いしやすい「男の子だからやんちゃだ、女の子だからおとなしくて扱いやすい」という思い込みと同じことかもしれません。男の子と女の子の性格の違いにそのようなことはまったくなく、性格は個体差や迎え入れた環境で作られます。男の子は甘えん坊で忠誠心があり飼い主にべったりで、女の子はわがままでマイペース、なんてパターンも実際にたくさん見聞きしています。パイドでおっとり大人しい子もいれば、クリームで気性の荒いやんちゃな子もいるということです。もちろん、どのカラーも男の子も女の子も関係なく、子犬期はみんなやんちゃですから、その点は間違えなくてください。

フレンチブルドッグのカラーの差って？



Q 人気ナンバーワンのクリーム。注意すべきことは？

クリームのトラブルを知っておく

A

テレビCMや雑誌など、メディアで起用されることが多いクリーム。色味には濃淡があり、白系からフォーンに近いベージュ系までいます。実際に濃いベージュ系は、血統書の申請の際にフォーンと申請するブリーダーもいます。クリームは4カラーの中でも、現在いちばん人気があるカラーだと思います。クリームを好む方は、明るい色だから、うれしそうな顔、せつなそうな顔、困った顔、そんな人間のような表情がわかりやすいからクリームが好きだと言われます。フレンチブルドッグが子豚ちゃんに例えられるようになったのも、クリームの色味からだと思っています。

ただ、人気があるだけに、4カラーの中で良い子犬を探すのが圧倒的に難しく、皮膚疾患など、何かしらのトラブルが多いのもクリームだというのが現状です。理由としては、まず単純にクリームは人気なので、売るためだけに無計画で乱繁殖をするブリーダーがとても多いことです。計画性のない乱繁殖で産まれた子は、将来的に何かしらの疾患が出る可能性が高いのはもちろん、本来あるべ

- ▶ 現在いちばん人気があるカラーがクリーム
- ▶ 4カラーの中で良い子犬を探すのが圧倒的に難しい
- ▶ 「価格が高い＝良質な子犬」ではない

Cream

ク リ ー ム

クリームは、白に近いものからベージュに近い濃いものまである毛色。アイラインは黒っぽくしっかりと出ます。顔の表情がわかりやすく、日本では大人気の毛色でもあります。



き姿のムチムチした骨太のフレンチブルドッグにはならない可能性も高くなります。そして子犬の頃は、そのクリームの子犬が良質なのか、乱繁殖なのか、一般の方が判断するのは正直難しいのです。子犬の頃はどんな繁殖で生まれた子犬であっても可愛いと感じるものです。

また、現在のフレンチブルドッグ人気で、ペットショップやネットショップでも高額なクリームがたくさん並んでいます。ネットショップで70万、80万のクリームがいたり、ペットショップでは、とくに100万を超えるクリームが並んでいたります。しかし、「価格が高い＝良質な子犬」ではないパターンがほとんどです。販売側が単純に、「人気カラーのクリームをブクブクに太らせて高額にしておけば、良質な子犬だと思って売れる」と考えているだけです。あなたはそのブクブクに太らされた子犬が良質なのかどうか判断できますか？ ネットで血統や大舎の情報を調べまくった知識で子犬の良し悪しを判断できる気になっってしまう方などは、特に要注意だと思います。

不安を煽るようになってしまいました。人気があるだけに、フレンチブルドッグの知識が少ない方がクリームを選択されることが多いのが現状です。そんな方に、クリームは他のカラーの子を選ぶより子犬探しに難しいこと、皮膚トラブルなど大変なことが多い可能性があるということ、少しでも知っていたければと思います。

フレンチブルドッグのカラーの差って？

Fawn

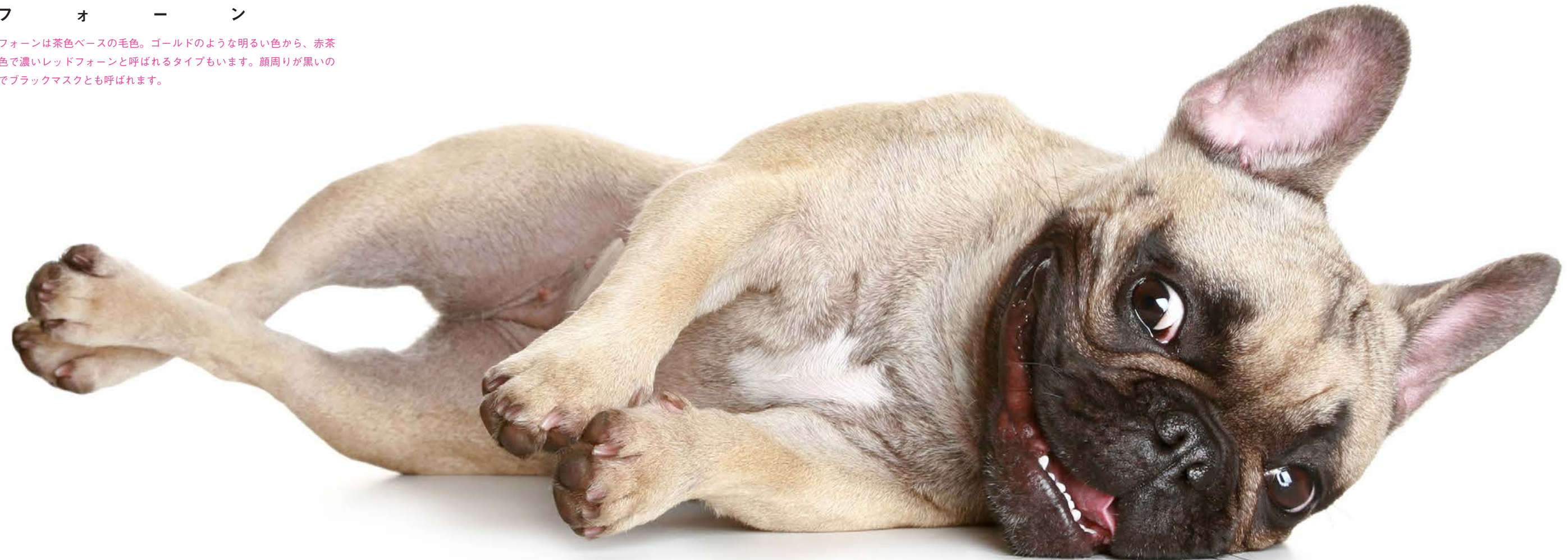
フ オ ー ン

フォーンは茶色ベースの毛色。ゴールドのような明るい色から、赤茶色で濃いレッドフォーンと呼ばれるタイプもあります。顔周りが黒いのでブラックマスクとも呼ばれます。

- ▶ 日本でも10年ほど前から人気が少しずつ出てきた
- ▶ 皮膚トラブルなども少なく、ブリンドルの健全性に近い
- ▶ 真摯なブリーダーに熱心に繁殖されてきたカラー

Q

最近フォーンが気になります。どんな子が多いのでしょうか？



A

フォーンは真摯なブリーダーと

ゴールド系の毛色にブラックマスクというバランスが気品を感じさせるフォーン。

クリームと同じく、色味には濃淡があり、明るいゴールド系からブラウン系やレッド系などがあります。15年ほど前から、ヨーロッパのドッグショーで活躍するフォーンが出てくるようになり、その流れで日本でも10年ほど前から人気が少しずつ出はじめて、最近では、フォーンの頭数もかなり増えてきました。フォーンはブリンドルと同じく、ヨーロッパでも日本でも、真摯なブリーダーに熱心に繁殖されてきたカラーなので、ブリンドルの次に犬質の良い子と出会える可能性が高いカラーだと思います。個体差はもちろんありますが、基本的にクリームやバイドに比べ、皮膚トラブルなども少なく、ブリンドルの健全性に近いカラーだと思います。

僕自身もフォーンの気品ある雰囲気魅了されていて、ヨーロッパの有名犬舎から、2歳のフォーンの子を輸入した経験があります。空輸されてきたそのフォーンの子と空港で初対面したときの衝撃は、初めて迎えたバイドの子犬以上のものがありました。その当時はフォーンが日本にあまり多くなかったのもありますが、それにしてもあまりにも迫力のある、まさに外産犬といったオーラのある子でした。やはり、血統はもろんですが、生まれた土地や環境、食事や水、犬

舎オーナーの愛情のかけ方で、同じフレンチブルドッグという犬種で、これほどまでに違いが出るのかという衝撃でした。もちろんこれはフォーンに限りません。ブリンドルやバイドもやはりヨーロッパのクオリティーが高いですし、クリームは本場のアメリカのクオリティーが高いわけです。それでも日本人の熱心なブリーダーは、ヨーロッパやアメリカから素晴らしいフレンチブルドッグを輸入して、日本のフレンチブルドッグのクオリティーを上げる努力をしています。もしあなたが、これからフレンチブルドッグを迎え入れたいと考えているのなら、是非ドッグショーに行ってみてください。JKC（ジャパンケネルクラブ）のイベントスケジュールを検索すれば、1年を通して日本全国でドッグショーが開催されています。出陳頭数の多いドッグショーに行けば、フレンチブルドッグが何頭かまとまって見られるはずです。ネットで子犬の写真や動画を見て悩むのはそのあとにしましょう。まずは実際のフレンチブルドッグのスタンダードが集まるドッグショーを見に行ってみてください。そして、自分の探しているカラー以外の子もしっかり見てください。そこで自分の目で見て感じたことが大事です。きっとあなたは「犬質」の大切さに気づくはずです。カラーの好みはもちろん大切ですが、それ以上に大切なのは「犬質」なんだと理解してから、改めて子犬探しをされることをオススメします。